

行ってみたい国はどこ？

～ 10月29日(金)県視覚・放送教育研究大会 ～

この大会は、**教育メディアの効果的な活用を通して、学力の向上と、心豊かな人間性の育成をめざす**ものです。本校は、教育課程研究協議会でも外国語活動授業をした6年生の学級が、単元最後の学習の様子を公開しました。

Warm up【導入】

6か国の名前や特色を表すキーワードを確認
チャンツ“ I want to go Italy ”

America	Australia	Brazil	Egypt	Italy	Spain
ホットドッグ ベースボール 自由の女神	コアラ 	サッカー サンバ	ピラミッド スフィンクス	ピザ スパゲッティ	パエリア フラメンコ

今まで出てきた6か国の名前や国の特徴を表すキーワードを、電子黒板で確認しました。機器の活用で、ALTがいなくても、アイミー先生の動画がその代わりにしてくれました。

子どもたちは、電子黒板の画面をしっかりと見つめ、口元の動きにも着目していました。



Presentation【課題把握】

動画で本時使うフレーズを確認
本時で使う新しいフレーズを練習

本時の活動「**国名や国の特色を表すキーワードを使ってゲームをしよう**」
ここでも、本時使うセンテンスを、電子黒板を使って確認しました。

【確認したセンテンス】 I want to go to Italy. Why? I want to eat pizza. I want to play baseball. I want to see Koala.

【新しいセンテンス】Welcome to America.

新しい表現も練習しました。

この表現が何を意味するか、場面の様子からみんなで推測してみると、「ようこそ」という正解が出され、歓迎の言葉であることがわかりました。



先生やペアの友達と繰り返す中で、キーワードと動詞“eat”“play”“see”の組み合わせを考えながら、センテンスを作りました。

本単元も4時間目、自信をもって話すことができるようになっていました。

Activity【コミュニケーション活動】

「入国審査ゲーム」

ルール確認 ゲーム

さあ、いよいよ、本時の中心となる活動「入国審査ゲームです。」6年生に扮した先生方のモデル動画が、ゲームの理解を助けてくれました。

【Model】C1,C2:“ Hello! (with shake hands) ”

C1 (旅行者) :“ I want to go to America. ”

C2 (入国審査官) :“ Why? ”

C1 :“ I want to eat Hamburger. ”

C2 :“ I see, welcome to America. ”



旅行者と審査官に分かれ、入国の理由を会話して、許可をもらうというゲームです。こうしたゲームは、英語を正確に話すよりも、コミュニケーション能力の素地を高めることがねらい。先生から提示されたためあては、

大きな声で話すこと 相手の目を見て話すこと でした。



Comment【まとめ】

自分や友達のよかったことをふりかえる。

学習カードへの記入 (自己評価) 発表

笑顔で会話をしていた2人が先生に指名され、発表をしてくれました。

学習カードへの記入でも、自分のがんばり、友達のよさが書かれ、授業が終わりました。

